

「住み慣れたまちの地域福祉を考える地域懇談会PART10」が

コミセン湘南大会議室で開催されました。



<議 題> 「おれおれ詐欺に引っかからないために」
地域では何が出来るか、何をすべきか

湘南地区社協が企画（市福祉政策課、市社協協賛）、毎年恒例の地域懇談会が平成30年2月17日（土）にコミュニティセンター湘南の大会議室で開催されました。

自治会、民児協、推進協、高齢者団体、ボラセン湘南、まちぢから協議会、地区社協、中学校、市高齢福祉介護課、市福祉政策課、市自治推進課、茅ヶ崎警察署生活安全課、市社協と幅広くから集まって下さった方は62名でした。



6グループに分かれて議題に対するグループ討議を行い、グループごとに発表して頂きました。従来とは一歩進んだ形で湘南地区の将来を見据えて今何が出来、何をしていこうかと言う命題でグループ討議をして頂き、活発かつ有意義であったと思われました。

懇談会の次第は、(当日配布の資料を参照願います：貼付省略)

グループ討議を進めやすくするため、グループ討議に先立ち

茅ヶ崎警察署生活安全課の内田さんから

「おれおれ詐欺に引っかからないために」DVD映写

茅ヶ崎市社会福祉協議会の茂木さんからグループワークを進めるにあたり話しやすい

材料となるような内容の講演を頂きました。



発表は各グループから3、4分でまとめた形で行っていただきました。

(貼付写真とグループワークのまとめをご覧ください)

「おれおれ詐欺」を減らすために個人として出来る事は家族間のきずなを深める。
地域として出来る事はサロンで「おれおれ詐欺」のDVDの映写や情報の伝達などの意見が多く出ました。

「おれおれ詐欺」を減らすには警察、行政、地域の三位一体で行う事が重要であるなど多くの有意義な意見、内容でした。

今後は発表を聞いた内容から具体的に企画、行動して行けば「おれおれ詐欺」は減っていくと確信しました。

(湘南地区社協PART10事務局)

当日の様子はHPに添付の写真を参照下さい